

自主的環境保全活動の取り組み状況

(事業所名) 多木化学株式会社 本社工場

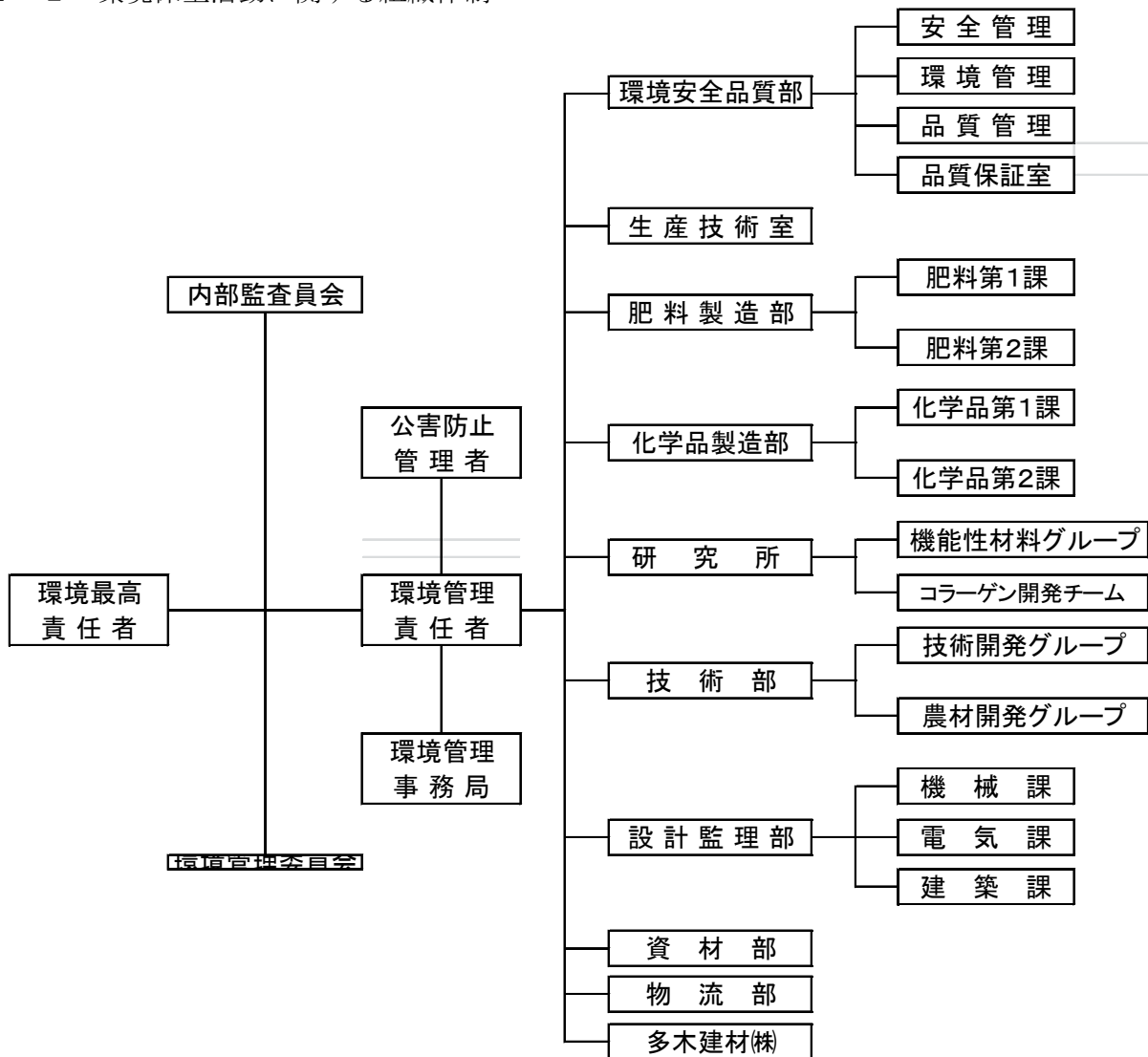
1 環境保全活動に関する方針等

1-1 環境保全活動に関する方針

1. 事業活動のあらゆる面で、環境影響の把握と環境負荷の低減を重視し、環境改善への取組を推進します。
2. 省エネルギー・省資源・廃棄物の削減およびその他の環境負荷低減のため、継続的な改善と汚染の予防に努めます。
3. 環境関連法律・規制・協定、同意するその他要項を順守します。
4. 環境目的・目標を定め、実施し、定期的な見直しを行います。
5. 廃棄物の処理・再生に努め、循環型社会の形成に貢献します。
6. 地域の環境保全に努め、地域社会との調和に努めます。
7. 全従業員が環境方針を理解し、環境に関する意識向上のため、環境に関する教育・啓蒙を行います。
8. この環境方針は求めに応じて社外に提供します。

公表の方法は、社内へは環境方針の複写物を作成し、全従業員に配布します。社外より開示を求められた場合は、環境管理事務局が複写物を配布します。また、弊社ホームページ上にも掲載し、一般に公表しています。

1-2 環境保全活動に関する組織体制



2 環境保全活動の実施状況等

項目	平成26年度取組結果	平成27年度取組計画
環境 マネジメント システム	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年8月に外部審査機関による継続審査を受け、認証継続となる。 	外部審査機関による認証継続 <ul style="list-style-type: none"> 環境方針に基づく活動の推進 監視測定の強化 内部監査の充実
廃棄物削減	<ul style="list-style-type: none"> 廃棄物減容化・再利用は、対前年1500t改善したものの、生産量の増加に伴う、発生量の増加が影響し、外部排出量は2000t増になった。一方、再利用可能な処分先への排出に努め、再利用化率は1%程度向上した。 	廃棄物外部排出量の削減 <ul style="list-style-type: none"> 発生量の抑制 分別、回収による再利用推進
設備保全 (投資)	<ul style="list-style-type: none"> 臭気、粉塵の建屋外への飛散を防止する為、建屋の屋根及び壁について、順次張り替え等をおこなった。 蓄熱式脱臭炉の定期点検をおこなった。 場内配管、タンク類の補修をおこなった。 	臭気、粉塵の建屋外への飛散防止 設備補修の実施
環境教育	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年7月に、工場全従業員への教育を実施した。 部門毎に手順教育を実施した。 環境ニュースを発行し、環境意識の啓蒙を図った。 	工場全従業員への教育実施
社会貢献 活動	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年5月と8月に工場周辺地区(西脇、宮西地区)の美化活動を実施した。 工場外壁際について月1回の頻度で清掃をおこなった。 	工場周辺地区美化活動の実施
特定物質 排出抑制	<ul style="list-style-type: none"> 温室効果ガス(CO₂換算量)は、本社工場合計量で平成25年度の18,627tに対して、平成26年度は17,072tと1990年比で43%の削減となった。 夏場の電力需要ピーク時期において節電に取組み、契約電力から19%以上の電力削減を達成した。 トランス2台を高効率タイプのものに更新した。 環境ISO活動で省エネに取組み、機器設備の適切な運転実施等の活動を進めた。 	特定物質の排出量削減 <ul style="list-style-type: none"> 省エネ活動の推進 高効率機器の導入